



編著者紹介

(Citation)

社会の時間 : 新たな「時間の社会学」の構築へ向けて:182-185

(Issue Date)

2022-06-30

(Resource Type)

research report

(Version)

Accepted Manuscript

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/90009428>



編著者紹介

鳥越信吾（とりごえ しんご） 第1章

十文字学園女子大学社会情報デザイン学部専任講師。慶應義塾大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程単位取得退学。博士（社会学）。専門領域は、理論社会学、社会学史、時間の社会学。主要業績として、『グローバル社会の変容』晃洋書房（中西眞知子・鳥越信吾編著、2020年）、「社会学総合誌にみる日本の理論・学説研究の歴史的動向」『知の社会学の可能性』学文社（栗原亘・関水徹平・大黒屋貴稔編、大黒屋と共著、2019年）、「もう一つの時間の比較社会学」『作田啓一 vs. 見田宗介』弘文堂（奥村隆編、2016年）、「近代的時間と社会学的認識」（『日仏社会学年報』30、2019年）など。

金瑛（きん えい） 編者・第2章・コラム1

関西大学非常勤講師。博士（人間・環境学）。専門領域は、記憶の社会学。主要業績として、『記憶の社会学とアルヴァックス』（晃洋書房、2020年）、「時間・空間・象徴——アルヴァックスの時間論をめぐって」（『社会学雑誌』37号、2020年）、「記憶における時間意識——アルヴァックスの記憶観をめぐって」（『日仏社会学年報』第24号、2013年）、「集合的記憶概念の再考——アルヴァックスの再評価をめぐって」（『フォーラム現代社会学』第11号、2012年）。

梅村麦生（うめむら むぎお） 編者・第3章・コラム2・コラム7・おわりに

神戸大学大学院人文学研究科講師。博士（文学）。専門領域は、社会学説史、理論社会学。主要業績として、「A・シュッツの同時性論」（『社会学評論』67巻2号、2016年）、「非同時的なものの同時性」（『社会学史研究』42号、2020年）、『3STEP 社会学』（共編著、昭和堂、2020年）。

高橋顕也（たかはし あきなり） 編者・第4章・はじめに

立命館大学産業社会学部准教授。博士（人間・環境学）。専門領域は、理論社会学。主要業績として、『社会システムとメディア—理論社会学における総合の試み—』（ナカニシヤ出版、2016年）、「Mita's Four Ideal Types of Time Revisited: Axiomatization of Sociological Concepts of Time (1)」（*Ritsumeikan Social Sciences Review*, 55(3), 2020）、「社会的システム理論におけるメディア・形式・時間・システム概念の数理的構造をめぐる試論」（『社会学雑誌』37号、2020年）。

大窪彬夫（おおくぼ あきお） 第5章・コラム3

早稲田大学先端社会科学研究所招聘研究員。早稲田大学大学院社会科学研究所博士後期課程満期退学。修士（社会科学）。専門領域は、社会学説史。主要業績として、「肖像画と社会学——ジンメルの抽象という方法をめぐって」（『社会学年誌』第53号、2012年）、「後期ジンメルにおける『個』論の形成と『生の哲学』の完成」（『社会学年誌』第58号、2017年）。

木村純（きむら じゅん） 第6章・コラム4

京都大学大学院文学研究科研究員。博士後期課程研究指導認定退学。修士（人間・環境学）。専門領域は、社会理論。主要業績として、「時間の四辺形」（『社会システム研究』第20号、2016年）、「支配に内在する時間」（『社会システム研究』第18号、2014年）。

藤貫裕（ふじぬき ゆう） 第7章

京都大学人文学連携研究者。京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学。修士（文学）。専門領域は、日本哲学史、特に九鬼周造の存在論と文学論。主要業績として、「九鬼周造の時間論における二つの永遠の現在——回帰的形而上学的時間における多と一の両立を手引きに——」（『日本哲学史研究』第15号、2018年）、「芸術としての器——経験と省察——」（ギュンター・フィガール著・藤貫裕訳）（『日本哲学史研究』第16号、2019年）。

吉田耕平（よしだ こうへい） 第8章・コラム5

東京都立大学人文科学研究科客員研究員。博士（社会学）。専門は社会学史、災害研究、移動研究。主要業績として、『『科学的社会学の挑戦と挫折』（首都大学東京人文科学研究科 2012 年度博士論文）、「再建する事業所、復職する従業員」（『日本労働社会学会年報』30 号、2019 年）、「なぜ被災労働者は復職するのか」（『年報社会学論集』33 号、2020 年）、「十九世紀西欧思想史と〈際限なき進歩〉への抵抗」（『社会学史研究』43 号、2021 年）。

鈴木洋仁（すずき ひろひと） 第9章

東洋大学グローバル・イノベーション学研究センター研究助手。博士（社会情報学）。専門領域は、歴史社会学。主要業績として、『『ことば』の平成論 天皇、広告、IT をめぐる私社会学』（光文社新書、2019 年）、『『三代目』スタディーズ 世代と系図から読む近代日本』（青土社、2021 年）。「ニコニコ動画は「運動」だったのか？ 協働という観点から見るポピュリズムとウェブ」（大塚英志編『運動としての大衆文化：協働・ファン・文化工作』水声社、2021 年）、「外山正一による「社会学」の導入 近代東アジアにおける思想の資源として」楊際開編『「明治日本と革命中国」の思想史 近代東アジアにおける「知」とナショナリズムの相互還流』（ミネルヴァ書房、2021 年）

徳宮俊貴（とくみや としき） 第10章・コラム6

神戸大学大学院人文学研究科博士後期課程在学中・日本学術振興会特別研究員 DC。修士（文学）。専門領域は、社会学理論、社会構想論。主要業績として、「見田宗介における「交響」（『ソシオロジ』66 巻3 号、2022 年）、「見田宗介の社会学理論における近代価値空間の反転と裂開 70 年代の理論構想の意義」（『現代社会学理論研究』14 号、2020 年）、「見田社会学における未来とニヒリズム——時間意識の四類型論をこえて」（『社会学雑誌』37 号、2020 年）、「〈社会構想の社会学〉の可能性——見田宗介の所論を中心に」（『社会学雑誌』34 号、2018 年）。

樋口あゆみ（ひぐち あゆみ） 第 11 章

福岡大学商学部経営学科講師。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学。修士(学術)。専門領域は組織論、理論社会学。主要業績として、“Double symmetry in Niklas Luhmann's moral communication” (*Kybernetes*, 51(5), 2022)、「組織境界の複数性——組織は多様な活動をどのように可能にしているのか」『21世紀の産業・労働社会学』ナカニシヤ出版(松永伸太郎・園田薫・中川宗人編著、2022年)、「組織社会学から見た『ほぼ日』」(*DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー*(Web版)、2017年)など。

金信行（きむ のぶゆき） 第 12 章

東京大学大学院学際情報学府社会情報学コース博士課程在学中。修士(社会情報学)。専門領域は、科学技術社会学、組織論、経済社会学。アクターネットワーク理論を中心に、非人間に着目した社会科学理論を経験的研究から再解釈する研究を行っている。主要業績として、“On “infra-theory” or “infra-language”: A clarification of Actor-Network Theory via Bruno Latour’s case studies” (*Journal of Asian Sociology*, 48 巻 3 号、2019 年)、「遂行性アプローチと価値評価研究——ドナルド・マッケンジーの 5 概念の展開可能性」(『日本情報経営学会誌』、40 巻 1・2 号、2020 年)、『ラボラトリー・ライフ——科学的事実の構築』(第 5 章の翻訳と解説論文の執筆を担当、ブリュノ・ラトゥール& スティーヴ・ウルガー著・立石裕二&森下翔監訳、ナカニシヤ出版、2021 年出版)。

若狭優（わかさ ゆう） 第 13 章

神戸大学大学院人文学研究科助手。博士(学術)。専門領域は、相互行為論、情報社会学。主要業績として、「自己呈示の手法としての『SNS の使い分け』——状況論的自己論の視点から」(『社会学雑誌』34 号、2018 年)、「ゴフマン理論の『空間』に着目した CMC 分析の可能性」(『新社会学研究』4 号、2019 年)、「電子メディア上の相互行為における『現実』の組織化の諸相——Twitter における『フレームの重層化』に着目して」(神戸大学大学院人文学研究科 2019 年度博士論文)、『『ギャンブル』というメタファー——運命性とアクションの検討を通じて』(『現代社会学理論研究』16 号、2022 年)。

書名 社会の時間—新たな「時間の社会学」の構築へ向けて—

発行日 2022年6月30日

編者 高橋顕也 梅村麦生 金瑛

著者 鳥越信吾 金瑛 梅村麦生 高橋顕也 大窪彬夫
木村純 藤貫裕 吉田耕平 鈴木洋仁 徳宮俊貴
樋口あゆみ 金信行 若狭優

発行者 高橋顕也 ((JP19K02145, JP22K01917)研究代表者)
〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町 56-1
立命館大学産業社会学部
URL <http://www.ritsumeai.ac.jp/ss/>

印刷 (株)七旺社
〒653-0012 兵庫県神戸市長田区二番町4丁目27番地
URL <https://www.shichiou.co.jp>

ISBN 978-4-909838-06-3